

本部広報2014-045

2014年11月14日

寒冷地でフロントガラスの凍結を防ぐには？ ～車両凍結テスト動画をホームページで公開～

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 小栗七生）は、これからの季節、最低気温が氷点下まで冷え込むことが多くなり、朝には駐車した車の窓やドアが凍結することがあることから、フロントガラスの凍結防止対策と凍結時の効率良い解氷方法を検証したテスト動画をホームページに公開しました。

フロントガラスの凍結防止対策の比較ではミニバン3台を用意し、それぞれ「対策なし」、「撥水剤を塗布」、「カバーをかける」の条件に分けて、夕方5時から翌朝7時まで駐車して検証しました（テスト1）。効率的な解氷方法は、フロントガラスを凍結させた車を1台用意し、右半分は「解氷剤」、左半分は「デフロスター」を使用して解凍時間を比較しました（テスト2）。

さらに、寒冷地ではドアが凍結して開かなくなることあることから、「通常の車」と「ドアの内側を水で濡らした車」で、ドアを開けるのに必要な力を計測し、比較しました（テスト3）。

※テストは2014年2月に長野県で実施

テスト1結果

対策	フロントガラスの状態
対策なし	スノーブラシのスノースクレーパー(へら)を使っても、凍結は取りきれなかった。さらに解氷剤やデフロスターで溶かす必要がある
撥水剤を塗る	表面は凍結していたが、スノーブラシのスノースクレーパー(へら)を使うと、簡単にきれいに取り除くことができた
カバーをかける	カバーを外すと、内側はまったく雪が降り込んでなかった。凍結もなく、カバーを外せば、すぐに走り出すことができる

テスト2結果

解凍方法	解凍時間
解氷剤使用	1分
デフロスター使用	10分

フロントガラスの凍結防止策として最も効果があったのは、カバーをかけておくことで、撥水剤を塗る方法も効果がありました。凍結した際には、ウインドウォッシャー液やワイパーではなかなか視界が確保できず、無理にワイパーを動かせば、ワイパーのゴムやモーターを傷める可能性もあるので、駐車時にはワイパーを立てておき、解氷剤等で解凍すると効果的です。ただし、お湯をかけると温度差でガラスが割れたり、低温下では解けた水がすぐに凍り付くこともあるので注意が必要です。

また、ドアを開けるには通常は5kgほどの力で開くのにに対し、凍結していると20kgを超える力が必要となりました（テスト3結果）。無理に開けると、ドアや車体のゴムを損傷することがあるので、雨天時に走行した後などは、ゴム部分の水気を拭き取ったり、凍結防止剤を塗っておくと良いでしょう。

■参考動画「寒冷地での駐車時は 窓やドアの凍結に注意！」

URL：http://ch.jafevent.jp/detail.php?id=182_0_99378



このリリースへの問い合わせは以下まで
お願いします。

一般社団法人日本自動車連盟 広報部

Tel：03(3578)4920

Fax：03(3578)4912

E-Mail:koho@jaf.or.jp

URL: <http://www.jaf.or.jp/>

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30

日本自動車会館